報道関係者各位

事後レポート

2026年11月
富士山GXホールディングス広報事務局

獣医師・林美彩先生「秋冬のペットの隠れ脱水」を解説！
水分補給＆腸活に役立つ“ふやかしごはん”を実演
～エブリィフレシャスの温水を活用した冬の脱水対策レシピもご紹介～

浄水型ウォーターサーバー「every frecious」を販売する、富士山GXホールディングス株式会社（山梨県富士吉田市、代表取締役会長：粟井英朗）は、2026年11月10日（火）、獣医師の林美彩先生をお招きし、「ペットの隠れ脱水防止メディアセミナー」を開催しました。

セミナーでは、秋冬に高まる「隠れ脱水」のリスクや、ペットの腸活について林先生が解説。愛犬家であり、当社マーケティング事業部 部長の久保とのトークセッションを行い、秋冬にペットに水を飲んでもらうための工夫や、飲み水に適した水の種類などについて意見を交わしました。最後に、ごはんから水分をたっぷり補給できる「ふやかしごはん」の調理方法を実演。実際に犬が美味しそうに実食するパフォーマンスも行いました。



■ 秋冬に進む、気づきにくいペットの「隠れ脱水」



涼しくなる秋冬は、喉の渇きを感じにくく、飲水量が減少しがちです。林先生は「秋の健康診断の時期になると、尿路結石や皮膚の乾燥、便秘などに関する相談が増える」と紹介しました。また、便秘が長引くと腸内環境の悪化につながるほか、床に近い位置で生活するペットは冷えの影響を受けやすく、むくみなどが原因で水を飲む量が減ってしまうこともあると説明しました。

■ 犬の体重別、1日に必要な水分量の目安とは？

林先生によると、食事に含まれる水分も合わせた「1日の総水分量」の目安は、体重1kgあたり約50～60ml。涼しくなると夏場より運動量が増えるワンちゃんが多いため、運動によって消費・失われる水分も考慮し、意識して少し多めにあげる必要があります。

超小型犬（3kg）	小型犬（5kg）	中型犬（10kg）
約150～180ml	約250～300ml	約500～600ml

※体重1kgあたり50～60mlで算出。年齢・運動量・体調・フードの種類によって異なります。

■獣医師と飼い主が語る、水を飲んでもらうための工夫

トークセッションでは、いち飼い主として日々の悩みを林先生に相談する形で進行。水道水を飲まなかった愛犬の飼育経験も交えながら、次のポイントが紹介されました。

- **器・置き場所：素材や高さ、場所にも好みがあるため、試しながらその子に合う形を探す**
- **水選び：結石リスクに配慮した軟水で、ミネラルが残り、有害物質が除去された水がおすすめ**
- **ごはん：フードはぬるま湯でふやかしてから。水やスープは食後1時間半～2時間後**

報道関係者各位

事後レポート

every frecious

2026年11月
富士山GXホールディングス広報事務局

■ 獣医師おすすめの「ふやかしごはん」を実演！ 人肌の温度で安心して完食

昆布としいたけの出汁でペットフードをふやかす「ふやかしごはん」を林先生より実演。
手作り食の大きなハードルとなる「お湯を沸かし、人肌まで冷ます手間」を解消するアイテムとして、温水と冷水をすぐ注水できる浄水型ウォーターサーバー「every frecious」を使用しました。





完成したごはんは、ミニチュアアメリカンシェパードのククナちゃんが実食。器を置いた瞬間から勢いよく食べ始めました。林先生が「出汁の香りをすぐに感じ取ったのでしょう。人肌の温度だからこそ、警戒せず安心して食べられています」と解説するなか、あっという間に完食し手軽さとおいしさを伝える場となりました。

■ 当日実演した、ペットにおすすめ！「ふやかしごはん」レシピ

エブリィフレシャスで作った出汁は素材の旨味を引き出すため、まろやかなクセのない味わいに仕上がります。余った出汁は、飼い主用のお味噌汁に活用したり、ほぐした貝柱と一緒に炊き込みご飯にするのもおすすめですよ！

≪材料≫

昆布	：10×5cm
干ししいたけ	：1～2枚
エブリィフレシャスの水	：1ℓ
ドッグフード	：適量
パプリカ（トッピング用）	：適量
きゅうり（トッピング用）	：適量
豆腐（トッピング用）	：適量

※昆布・しいたけのだしがらは消化に負担がかかるため、ワンちゃんには与えないほうが良いです。

①容器に昆布、干ししいたけを入れて
エブリィフレシャスの水を1ℓ注ぎ一晩置く。

②出汁を器に入れ、温水と冷水で5～10倍に薄めて人肌の温度にする。

③ドッグフードを入れ、5分ほど置いてふやかす。

④お好みで切ったパプリカやきゅうり、ちぎった豆腐をのせて完成。

■ 今回登壇いただいたのは…

獣医師 林 美彩 先生



酪農学園大学獣医学部卒業。西洋医学を土台に、食事療法・東洋医学・自然療法を取り入れ、その子らしさに寄り添うケアを提案。
2024年に北海道にCHICOどうぶつ診療所を開院し、現在は北海道をメインに従事。著書累計6万部で、幅広く犬猫の健康情報を発信している。

報道関係者各位

事後レポート

2026年11月
富士山GXホールディングス広報事務局

浄水型ウォーターサーバー「every frecious」は、水道水を注ぐだけでおいしい水がすぐに飲めるという手軽さはもちろんのこと、ペットを飼育する人にもうれしいこだわりのポイントが詰まっています。

■浄水型ウォーターサーバー「every frecious」とは

天然水「フレシャス」のセカンドラインとして誕生した、浄水型ブランド「エブリィフレシャス」。水道水を注ぐだけで、安心でおいしい水が楽しめます。浄水性能がパワーアップし、除去対象物質は50種類に拡大。気になるPFASも99.9%※1以上除去します。さらに、6段階の温度設定が可能で、人気の常温水や高温水に加え、調乳に便利なエコ温水※2もご利用いただけます。コンパクトな卓上型やたっぷり使える床置き型など、お部屋に馴染むおしゃれな高性能サーバーが揃っています。

※1　JWPAS B.210準用：原水濃度500ng／L・総ろ過水量1,200L・検出限界値0.1ngでの試験結果
※2　機種によって搭載されている機能・性能が異なります。



every frecious
tall



every frecious
lite



every frecious
mini

BEAMS DESIGN
特別カラー



every frecious mini
Produced by BEAMS DESIGN

■ペットも安心なおいしい水をいつでも

たっぷりお水を使っても、月々のお支払いはウォーターサーバーのレンタル料金のみ。自宅の水道水を注ぐだけで手軽に利用できるため、水の料金※1や使用量を気にせず、ご利用いただけます。また、1年に1度交換する浄水カートリッジ※2も無料でお届け。ペットにもおいしい水を、いつでも手軽に用意できます。



※1　別途水道代がかかります。
※2　専用カートリッジによる除去物質数は50種類（家庭用品品質表示法で定められた対象12物質を含む）。
　　全モデルで使用する浄水カートリッジでPFASの規制対象物質であるPFOS、PFOAの除去が可能です。

■使いやすさをデザインした機能的な設計

給水ボタンや出水口は大人が使いやすい高さに設計されており、シンプルなデザインはこだわりのインテリアにも馴染みます。水受けトレイが広く、出水口にも十分な高さがあるため、背の高いペット用の器にもスムーズに給水できます。

会社概要

会 社 名	：富士山GXホールディングス株式会社
会社HP	：https://fujigx.co.jp/
代 表 者	：代表取締役会長 栗井英朗
所 在 地	：山梨県富士吉田市上吉田4961番地1(本店・工場)

＜本件に関する報道関係者からのお問合せ先＞
富士山GXホールディングス 広報事務局（KMCgroup株式会社内）担当: 佐藤・松田・竹ヶ原
TEL：03-6261-7413　FAX：03-6701-7543　広報事務局直通：080-4144-5738　E-Mail: info@kmcpr.co.jp